

相模原の障がい者施設での殺傷事件から約3年半が経ち、その公判が開かれています。

容疑者は「障害者は不幸しか生まない」という「信念」のもと、犯行に及んだようですが、その背景には、「生産性」「能力」だけで人間の価値を決めようとする、社会の「空気」のようなものがあるのでは、と感じます。そしてわが国には「優生保護法」が1996年まで存在していました。

この社会や歴史の中で、この事件の容疑者の考えは決して「特異な考え」ではなく、私たちとつながっている、もしかしたら、そう遠くない場所にある考えなのでは、と感じています。

事件そのものは「常軌を逸した、許すことのできない犯行」ですが、他人ごととしてとらえず、常に自らを振り返り、社会を見つめることが大切だと感じています。(松本)

## 今年一年の健康を祈って「もちつき」をしました！！

《一長さん、ありがとうございました》



新年になってもポカポカとした陽気が続いています。そんな中、今年も「新春もちつき」が1月10日(金)に行われました。

毎年お世話になっている松沢一長さんが、コムハウスから臼と杵をもってきて下さり、朝早くから準備してくださいました。また、給食部の職員も早くから総出で準備してくださいました。ありがとうございました。

10時から玄関先に集まって交代でお餅をつきましたが、昔から餅つきの経験がある仲間は、職員顔負けの上手なつき方で、囲んだギャラリーから「オーッ！」と歓声が上がっていました。

お餅は給食でお雑煮にいただきました。つきたてのお餅はおいしいですね！

また、この日はホテル清掃やはこびやなどで、残念ながら不参加となった仲間もいました。お仕事本当にお疲れさまでした！そしてありがとうございました！

